ISSN 2186-6287

GSJ 地質ニュース

地球をよく知り、地球と共生する

2025
5
Vol.14 No.5

産総研 地質調査総合センター

https://www.gsj.jp/publications/gcn/
本誌のPDF版はオールカラーで公開しています.

GSJ 地質ニュース
2025 Vol. 14 No. 5

5月号

101 **地質情報展 2024 やまがた 産総研東北センターからの出展報告** 田口修弘

103 **地質情報展 2024 やまがた：山形県の鉱物資源** 天谷宇志・左部翔大

108 **地質情報展 2024 やまがた　化石レプリカづくり** 石野沙季・中村由美・利光誠一・中島　礼・百目鬼洋平・山谷忠大・川邉禎久

111 **2024 年度地質標本館における博物館実習** 中村由美・森田澄人・兼子尚知・川邉禎久

116 **地質標本館イベント「自分で作ろう！！化石レプリカ」開催報告** 兼子尚知・利光誠一・森田澄人・川邉禎久・常木俊宏・福田和幸・瀬口寛樹・中村由美・朝川暢子・清水裕子

118 **地質標本館イベント「地球なんでも相談」開催報告** 兼子尚知・川邉禎久・森田澄人・武井勇二郎・常木俊宏・藤原智晴・福田和幸・瀬口寛樹・下川浩一・朝川暢子・清水裕子

120 **2024 年度 GSJ 見学会開催報告** 草野有紀・中村佳博・梅澤良介・今泉博之

125 **2024 年度 FREA 一般公開での GSJ 展示を担当して** 柳澤教雄・中川圭子・伊藤順一・内野隆之・小松原純子

5月10日は
地質の日

ウェブでチェック!

5月10日を中心に全国でイベント開催!

地質の日事業推進委員会事務局
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター
E-mail：geologyday-jimu-ml@aist.go.jp
Web：https://www.gsj.jp/geologyday/

地質の日事業推進委員会：（一社）日本地質学会、（一社）日本応用地質学会、（一社）日本鉱物科学会、資源地質学会、日本堆積学会、日本古生物学会、日本第四紀学会、日本情報地質学会（2025年4月より日本情報地球学会）、（独）国立科学博物館、全国科学博物館協議会、神奈川県立生命の星・地球博物館、（国研）産業技術総合研究所、日本科学未来館、（地独）北海道立総合研究機構、（公社）東京地学協会、（一社）全国地質調査業協会連合会、（NPO 法人）日本ジオパークネットワーク、大阪市立自然史博物館、（公財）阿蘇火山博物館、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科（順不同：2025年1月現在）

撮影地：福岡県 芥屋の大門　　題字：高橋須葉

地質標本館 特別展

地質とAI

地球を読み解く新たなアプローチ

2025 4.22(火) ▶ 9.7(日)

近年、AI（人工知能）の技術開発は目覚ましく、社会における AI の利用は日々拡大しています。産総研 地質調査総合センター（GSJ）においても、画像解析等での AI を利用した研究や、地質調査のための AI 技術の開発が進められています。本特別展では、GSJ で実施しているそれらの研究と、今後の展望を紹介します。

5月10日は 地質の日

開催場所：地質標本館 1 階ホール
開館時間：9時30分～16時30分
休館日：毎週月曜日
（休日の場合は翌平日）

入場無料

国立研究開発法人産業技術総合研究所
地質調査総合センター
産総研 ともに挑む。つぎを創る。

GEOLOGICAL MUSEUM
地質標本館

〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
TEL：029-861-3750 https://www.gsj.jp/Muse/

GSC20250326

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長	中島　礼
副委員長	戸崎裕貴
委員	竹原　孝
	児玉信介
	草野有紀
	宇都宮正志
	山岡香子
	大滝壽樹

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : NAKASHIMA Rei
Deputy Chief Editor : TOSAKI Yuki
Editors : TAKEHARA Takashi
KODAMA Shinsuke
KUSANO Yuki
UTSUNOMIYA Masayuki
YAMAOKA Kyoko
OHTAKI Toshiki

事務局
国立研究開発法人　産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター　出版室
E-mail：g-news-ml@aist.go.jp

Secretariat Office
National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail：g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第 14 巻 第 5 号
令和 7 年 5 月 9 日　発行

国立研究開発法人　産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒 305-8567　茨城県つくば市東 1-1-1
中央事業所 7 群

GSJ Chishitsu News Vol. 14 No. 5
May 9, 2025

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan

印刷所

ⓒ 2025　Geological Survey of Japan, AIST

羅臼市街地から望む知床連峰の最高峰，羅臼岳火山

cover photo

羅臼岳（標高 1661 m；アイヌ語名ではチャチャヌプリ）は，北海道東部，知床半島脊梁部に分布する知床連山の最高峰を成す活火山である．直径は約 5 km，大部分が輝石安山岩の溶岩や火砕岩からなる成層火山であり，その頂部には溶岩ドームが載っている．有史以降現在まで火山活動は認められていないが，過去に遡ると2200 ～2300年前，1400 ～1600年前，500 ～700年前の3つの時期に規模の大きい噴火が発生したことが知られている．この一帯はヒグマの生息地であり，登山や調査の際には十分な備えが必要である．

（写真・文：七山　太　産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター / ふじのくに地球環境史ミュージアム）

Rausu-dake Volcano, the highest peak of the Shiretoko mountain range, seen from Rausu Town, eastern Hokkaido, Japan. *Photo and caption by NANAYAMA Futoshi*

GSJ CHISHITSU NEWS 2025 Vol.14 No.5

AIST Geological Survey of Japan GSJ

AIST11-G00013-157